

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	脊椎の腹臥位術患者に対する術中加温方法の違いによる体温管理の比較
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	笹間 祐太郎
研究期間	2020年 12月 ～ 2022年 12月
対象者	2016年1月から2020年10月の期間中に、脊椎の手術を受けられた患者さん
当該研究の意義・目的	<p>一般的に、手術中に低体温（36℃以下）になると様々な合併症の恐れがあります。手術中は患者さんの体温をモニタリングし、加温用の装置を用いる等の対策によって低体温を予防しています。</p> <p>現在、脊椎の手術用の専用ベッドとしてアレンベッド®が普及しています。このベッドは、一般的な手術台に取り付けて使用するものであり、それぞれの患者さんの体型に合わせて調節ができる等の点で安全性が高い一方で、体幹および上肢については露出が多いという課題があります。</p> <p>そこで本研究では、手術中の体温管理について、アレンベッド®使用前の従来の方法と比べて、アレンベッド®を使用し、体幹および上肢の加温をしなかった場合、加温した場合での比較を行います。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 年齢、性別、BMI、術式</li><li>・ 検査データ（Hb、TP、血清アルブミン、ヘマトクリット）</li><li>・ 術式、手術時間、麻酔時間、偶発的低体温発生の有無、術中体温（手術中の最低体温、変化（低下）量、最低温度になるまでの経過時間、復温（変化量）、復温の有無）、麻酔方法、麻酔薬使用の種類・用量、麻酔深度、筋弛緩薬の使用の有無と種類・用量、鎮痛剤の使用の有無と種類・用量</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 手術室 看護師 笹間 祐太郎 代表 054-247-6111